

種村良平

コア

「今日もここに感謝して働きましょう」

これはコアグループ創業時に父から贈られた額の言葉です。私は防衛大学校応用物理学科出身ですが、次々と新たな技術革新が起こるITコンピュータの世界に魅力を感じ、技術者への道を選びました。コアグループには現在一五〇〇名以上の社員が在籍していますが、ことあるごとに笑顔と感謝を忘れず、前向きに仕事に取り組んで欲しいという話をしていきます。

またコアの信条として、「3-S-I-T-A-C」というキーワードを大切にしています。スピード・シンパル・セルフとクリエイティブ・テクノロジー・アクション・チャレンジの英字頭文字からとって私が創った言葉です。コアグループ社員全員がこのキーワードを軸に、独立ベンチャー企業として地域活性化を考え、新たな道を切り開いています。

【撮影メモ】

「自由に好きに生きる」が氏の人生哲学。カジキ釣りが大好き、スポーツカーも大好き。とんでもない値段の車二台所有。コロナ禍前はご自身で富士スピードウェイで運転されていた。絵も描く。何百点も描かれている。ラジオ体操をしたあと、毎朝腕立て三〇回。穏やかに馴染みやすく、それでいてイキな方。「水は穏やかに美しく流れるが、時には激流に変わる」のごとくポーズを注文せずともすべてさまになる。

ITの草分けではあるが、アナログを大切にされている。カジキ釣りや車の運転はまさにアナログである。

(二〇二二年〇月五日撮影)

種村良平
今日もここに感謝して働きましょう

良平 海田悠

たねむらりょうへい

一九四〇年生まれ、三重県出身。一九六三年防衛大学校卒業後、日本ビジネスオートメーション株式会社(現・東芝情報システム株式会社)入社。一九六五年日本電子開発株式会社(現・キーエンスソリューションズ株式会社)の設立に参加。一九七三年IT事業を中心としたコアグループを創設し、同年二月に株式会社システムコア(現・株式会社コア)代表取締役社長に就任。二〇〇三年三月株式会社コアの東京証券取引所上市に伴い、同年六月に同社代表取締役会長最高経営責任者(CEO)に就任。草創期から組込みソフトウェア開発を手掛ける事業者として組込み業界団体の設立に尽力し、一九八六年八月から一九九九年六月まで社団法人日本システムハウス協会(現・一般社団法人組込みシステム技術会)初代会長を務める。また地域の未来を支える人材の育成にも取り組み、一九八六年創立の帯広コンピュータ専門学校(現・帯広コア専門学校)をはじめとした九学校法人二校の技術・技能を修得する専門学校を設立し、コア学園グループを形成。一九九九年一〇月「情報化促進貢献個人表彰」通商産業大臣表彰受賞。二〇一四年一二月多年のIT業界への貢献により藍綬褒章受賞。

株式会社コア

一九六九年二月の創立以来、独立系ICT企業としてマイコンを搭載した組込み機器が社会に登場した草創期から組込みソフトウェア開発事業を手掛ける。一九七三年五月コアグループを結成全国に設けた拠点網を活かし、顧客本位のICTサービスを設定して幅広い業種・業務へ提供。近年はこれまで培ってきた技術や業務ノウハウを基にお客様の抱える課題の解決に最適なソリューション提案を行う「ソリューションビジネス」と、創立以来の事業である組込みソフトウェア開発に先端技術を用い、お客様の業務を分析して企画から運用までの一貫したサービス提供を行う「SIBビジネス」を中核として事業を展開。今注力しているメディア・公共・医療・G・N・S・S・I・O・T・エネルギー・DXなどの分野で全国のお客様と「新たな価値」を共創し、ソリューションメーカーとして持続可能な社会の実現に向けて挑戦し続けている。

